

鶴舞地区コミュニティサイクル社会実験【NITY】 & コミュニティサイクル・まちづくりサミット

名古屋市緑政土木局路政部自転車利用課



【これまでの取り組み】

- 2009年 名チャリ（無料）社会実験
- 2010年 名チャリ（有料）社会実験
- 2011年 本格導入に向けた事業モデル検討会開催

現在は・・・

民間主体による都心部へのコミュニティサイクル本格導入を目指し、
規制緩和等、行政支援の在り方について検討中



民間による事業実施に向けての機運向上

**2012年 鶴舞地区コミュニティサイクル（NITY）社会実験
コミュニティサイクル・まちづくりサミット**

【名古屋市は共催（金銭的補助はなし）】

鶴舞地区コミュニティサイクル社会実験

【NITYとは?】

- ・名古屋工業大学 伊藤孝紀研究室と(株)蔦井の共同事業
- ・名古屋市の事業モデルを具現化する形で実施
- ・交通系ICカード「mana」のみで、『認証』から『決済』まで行えるシステムを採用
- ・ポートから自転車までを伊藤先生がデザイン
横から見ると「N」に・・・

ちなみに・・・

『NITY』とはCOMMUNITY CYCLE

Nagoya Institute of Technology
(名古屋工業大学)
の頭文字 N,I,Tをとって・・・

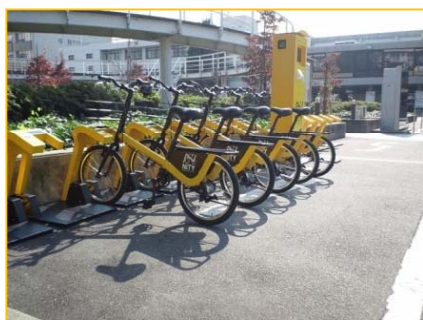


【実施エリア】



【実施概要】

実施エリア	鶴舞地区
ステーション数	6箇所
貸出自転車台数	30台
実施期間	11月1日～12月16日 計46日間
会員登録者数	331名
利用時間	午前7時～午後11時
貸出・返却方法	ICカードによる セルフサービス

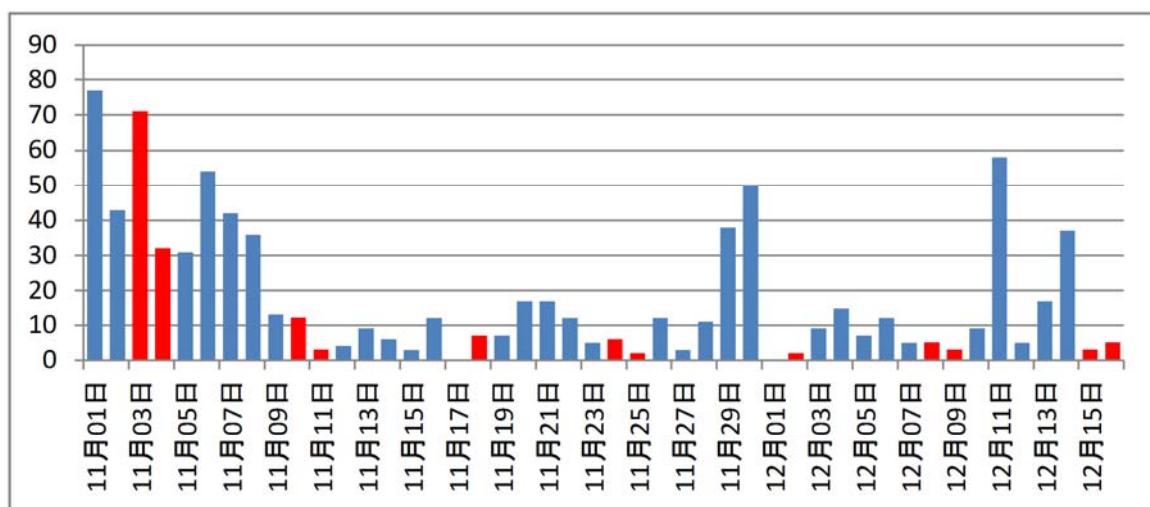


【料金プラン】

プラン	基本料金	利用料金	
		最初の30分	超過30分毎
定期券	1,000円	0円/回	100円/30分 (別途)
当日券	200円	0円/回	
5回券	400円	0円/回 (5回まで)	
1回券	—	100円/回	

【利用状況】

	NITY	名チャリ(H21)	名チャリ(H22)
実施日数	46日	60日	61日
料金	有料	無料	有料
貸出・返却方法	ICカードによる セルフサービス	有人貸出	ICカードによる セルフサービス
自転車台数	30台	300台	300台
ステーション数	6か所	30か所	30か所
登録者数	331人	30,794人	1,905人
貸出回数	827回	98,846回	26,208回
貸出回数/日	18回	1,647回	430回
回転率	0.6回	5.5回	1.4回
平均利用時間	13.2分	32.4分	12.9分
一人当りの 平均利用回数	7.1回	3.2回	13.8回



利用回数の状況



【課題】

ステーションの設置に難航した

- ・名古屋市が共催していることを担保に貸してくれるところも…

エリアが局部的であり、利用者が少なかった

- ・栄や名駅等の都心エリアへの拡大が必要

交通系ICカード「mana」の利用も、今回のみの期間限定

- ・今後の本格導入へ向けて要調整
- ・公共交通機関としての位置づけが必要

ラックに枯れ葉が詰まり、自転車がロックできない状況

- ・清掃に苦慮した。ラックの機能的改善が必要

コミュニティサイクル・まちづくりサミット

1日目 公開シンポジウム

○基調講演

- ・「都市交通政策における」コミュニティサイクル」
名古屋大学大学院 森川高行 教授
- ・「コミュニティサイクルを活かしたまちづくりの可能性」
名古屋工業大学 伊藤孝紀 准教授

○パネルディスカッション

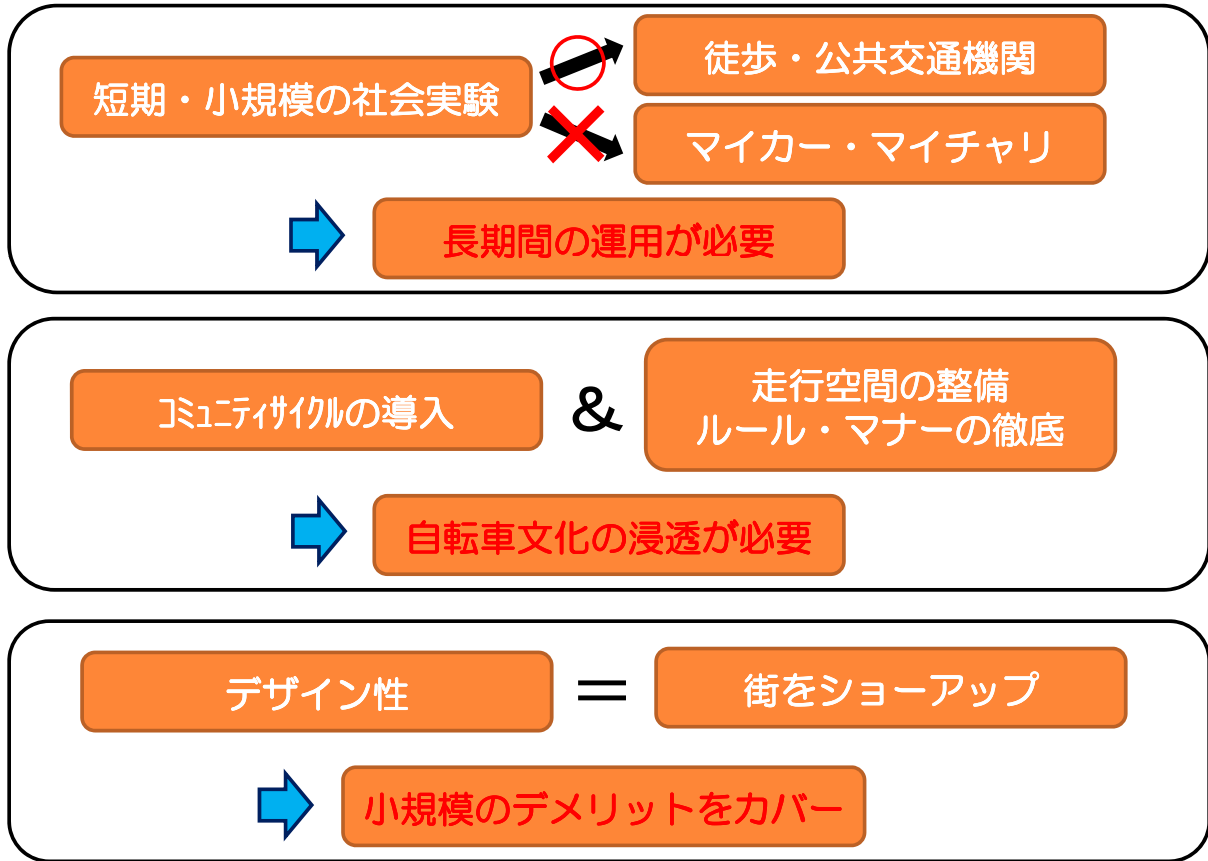
『コミュニティサイクルでまちはどう変わるのか』

- (札幌) 札幌大通まちづくり(株) (東京) コギコギ(株)
- (横浜) 横浜市 (富山) 富山市
- (金沢) 金沢市 (名古屋) 蔦井(株)

The image shows a promotional poster for the 'Community Cycle Town-making Summit' (コミュニティサイクル まちづくりサミット) held on December 18th. The poster is divided into two main sections: 'Public Symposium Program' (公開シンポジウム プログラム) and 'Panel Discussion' (パネルディスカッション). The symposium program lists two keynote speakers: Takayuki Morioka (森川高行 教授) from Nagoya University Graduate School and Naoki Ito (伊藤孝紀 准教授) from Nagoya Institute of Technology. The panel discussion is titled 'How will the city change with Community Cycles?' (『コミュニティサイクルでまちはどう変わるのか』) and features five participants from various cities: Sapporo (札幌大通まちづくり), Tokyo (コギコギ), Yokohama (横浜市), Toyama (富山市), and Nagoya (蔦井). The poster also includes the event date (12/18), time (13:30-17:30), and location (Nagoya City Hall, 中区役所ホール).

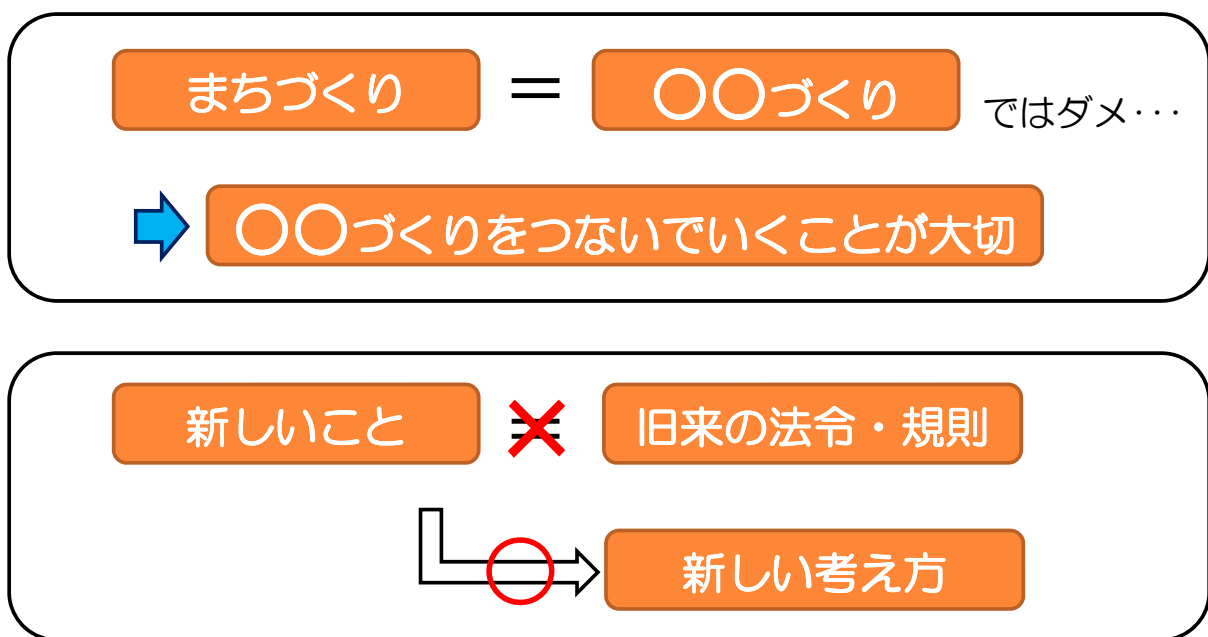
『都市交通政策におけるコミュニティサイクル』

名古屋大学 森川高行 教授



『コミュニティサイクルを活用したまちづくりの可能性』

名古屋工業大学 伊藤孝紀 准教授



パネルディスカッション

テーマ『コミュニティサイクルで街はどう変わるか』



【札幌】

『コミュニティサイクルを実現していく上で大事なこと…』

・ポロクルは6000人以上の会員がいて、1日3, 4回転すると、非常に目立つ。目立つからこそ、利用者は軽車両に乗っていて、歩行者にとっては危険なものだということを認識し、自らがルールを示しながらやっていくという視点が重要

・お客様と提供者という関係だと、サービスとしてとらえられ、サービスし続けなければいけなくなる。お互いが一緒に作りこんでいくことが大事



札幌大通まちづくり株式会社

【東京】

『採算性における広告費の話題から…』

・表参道でやっていることが非常に大きい。街自体がブランドであり、広告媒体となっている。パルコやスタバのポートを見たとき、新聞、雑誌、TVが取材に来る。

スタイリストやモデルの会員が多く、自ら宣伝してくれる。そのように街自体がPRをしてくれる印象

『環境への配慮…』

・実現可能かどうかは別として、自転車専用道路は絶対必要！東京都港区は自動車乗り入れ禁止。街の中は「徒歩」か「自転車」という街づくりができればいいな



コギコギ株式会社

【横浜】

『既存交通との連携…』

・連携はしたいが、具体的に話は進んでいない。JRだと「スイカ」が使えないと連携できないので、システム的な面についても検討していきたい。

『ポートの設置について…』

・「これを置いたら何か悪いことが起こるのでは…」 「違法駐輪が増えるのでは…」という印象をもたれる。役所も土地所有者も非常に憶病…。ただ、やってみて問題ないとなれば協力してくれる。



横浜市都市交通課

【富山】

『導入初期のPRについて…』

・初めは、市民も何だかわからないものが来たなっていう感じだった。そこで、お祭りやイベントに積極的に参加しPRした。それらの積み重ねにより今では非常に認知度は高い。

『既存交通との連携…』

・既存交通との連携という点で、既存のLRTを補完するという役割でコミュニティサイクルが導入されたので、相乗効果が図れるような利用促進を進めている。



富山市 環境政策課

【金沢】

『採算性の話題から…』

・街の特性として、広告収入は難しいと判断した。そこで、運営費として市から補助を出すことを決めた。自転車等の財産は市が持っているので、ポートの増設等については市が負担し、事業者の支援をしていく。

『ポートの設置について苦労した点は…』

・裏通りのポートが設置してある個所が多く、位置が分かりにくいという指摘も度々あったが、探してもらうのも旅の楽しみ方として割り切った。



金沢市 歩ける環境推進課

森川先生からのお話し

世界中にこれだけコミュニティサイクルが普及したら、ある程度の規模の都市にはあるのが当たり前。

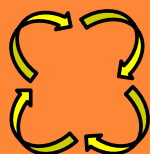
『おもてなし』
の観点

コミュニティサイクルは自転車文化を高める。きちっとしたルールの中で自転車を使おうという意識の向上。

『公共的自転車』
の位置づけ

公共がコミュニティサイクルをサポート

自転車走行
空間の整備



ルールやマナー
の向上

放置自転車の減少

『エコの効果』
向上

2日目 実務担当者会議

○話題提供

- ・「自転車駐輪場の設置について」
国土交通省街路交通施設課
小山 正人 係長
- ・「川越市まちなかレンタサイクルについて」
(株)ペダル、(株)まちづくり川越

○実務担当者会議

『持続可能なコミュニティサイクルの実現に向けて』

収益性を高めるための課題と対策

- ・ランニングコスト
- ・会員獲得を促すシステム
- ・屋外広告事業

利用に配慮したステーション展開の具体策

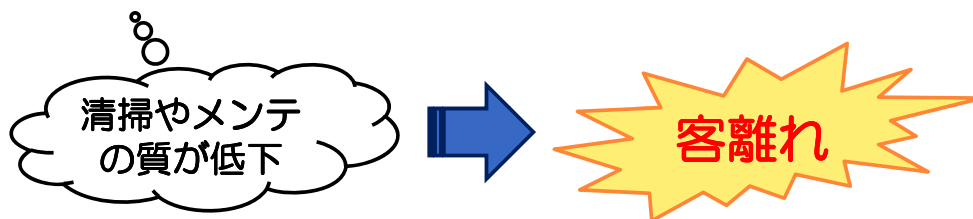


ランニングコスト圧縮のための工夫

人件費カット

もっとも有効なのは

IT化



一方で…
シェアリングサービスを提供

『嫌な人は利用してもらわなくてもいい』くらいの割り切りで…

会員獲得を促すシステム

名古屋では…

過去の社会実験により、クレジットカード利用の抵抗感
⇒交通系ICカードの利用

他都市の見解…

現状8割以上が
クレジットカード

・クレジットへの抵抗感は
なくなってきている？

現金利用の
ニーズも高い

・ホテルと提携し窓口対応

観光客は使いたい時
すぐ使いたい！

クレジットカード
がない人のことま
で考える必要なし

屋外広告事業

屋外広告は 伸びている！

- ・IT関係と屋外広告のマーケットは伸びている
- ・テレビやラジオなどは落ちている

車体広告は小さ すぎて売れない！

- ・事業開始直後は露出があるので需要はある
- ・メディアへの露出が少なくなると契約してもらえない

広告効果は板面積 に比例する！

- ・ステーション、市制情報パネル
- ・あまりにくどいと嫌がられる

地域により考え方は いろいろ！

- ・行政による規制緩和も必要

さいごに・・・

今回のコミュニティサイクルサミットはご参加いただいた行政、事業者の方のご協力のおかげです。
この場をかりて、あらためて御礼申し上げます。

今後も、このような情報交換の場が全国各地に広がる
とともに、まさに、コミュニティサイクルそのものが
全国各地にあるのが当たり前になれば・・・と期待します。



ご清聴ありがとうございました。

